

## 作文教室の思い出

講師 長谷川信正

「文を書くことは、心のお化粧をするのと同じだ」。7回を数えたコスモス会の作文教室のしよっぱな、こんなことを言っていた気がする。お化粧で男は品格を、女性は内面の美しさを得る。そんな思いからの発言だった。彼女の最初の文章は、お世辞にも上手とはいえなかった。が、何度か書くうちに読める文章になり、きらりと光る表現が周りを感心させ始めた。平行して表情が変わった。視線が柔らかくなり、口元に穏やかさが宿った。書く作業は、右脳も左脳も使う。起承転結という「書く基本」を左脳で処理し、わかりやすい文章に仕上げる。光る言葉の選択は、右脳の仕事だ。彼女はだれも思いつかない驚きの表現を、独特の感性で導き出していた。受講者は延70人に達し、みんな努力家だった。心のお化粧を持ち前の頑張りで続け、すべての方が「内なる美」を得たような気がする。それが何よりうれしかった。

**予告**  
**OGS新年互礼会**  
日時：H271月7日(水)  
場所：ウェスティンホテル大阪  
**コスモス会総会**  
日時：H27年1月23日(金)  
場所：たかつガーデン

## 第2回街歩き 大坂新町を歩く

### 天下の花街 夕霧太夫の面影をもとめて

11月9日(日)、第2回街歩きは、あいにくの雨の中、8名の参加でした。今回の長谷川先生の案内は四ツ橋駅からスタートです。新町といえば遊郭のまち、「夕霧太夫」という姿美しく芸事に秀でた女性が実在していたこと有名のようです。

私は、職場が西区にあるので、新町がどんなところなのか、夕霧太夫がどんな人だったのか興味を持ち、わくわくしながら参加しましたが、スタート地点で「今回の感想文書いてね」と言われて(なんで?)とそこから焦燥感が、先生の話に必死に耳を傾けても都会の喧騒に妨げられ、聞き直す機会もなく、泣きたくなりました。でも、持ち前の責任感を發揮して(エラソウに)よく見ると、今は昔：かつて、花道であった遊郭の名残は殆どなく、石碑が点在しているだけでした。

新町は幕府より最初に公認された遊郭であり、新町南公園にある砂場跡の碑では蕎麦店、新派劇(新町演舞場)と三大発祥地として新しい町だったようです。新町で太夫となった夕霧さんのお話は、喫茶店でくつろぎながらして頂きました。

当時の遊女は太夫・天神・鹿子位(かこい)・端女郎(はしじょろう)と総勢数百人から数千人以上いたという新町遊郭の頂点をとった夕霧太夫とはどれほどの人だったのでしょうか？京都島原の「扇屋」から新町へ移転してわずか6年後に病で倒れ、25歳？の若さでその命を落としました。

はかない命を惜しんで浄瑠璃や歌舞伎に描かれるようになり、井原西鶴の「好色一代男」で、なお一層世間に名前が広まったそうです。

まだまだ先生のお話は続きましたが、実際の所はよく分からないそうです。皆さんはどう感じましたでしょうか？

森口 直美



## ヨガ教室

ヨガ教室が始まって何年になるでしょう。そうそう、これは前にもしたことが有るわと思う繰り返し。時々でも家で思い出してやっていたらいいのですが・・・。実はヨガを口実にみなさんに会い、名物のお寿司を食べながら近況を話し合いストレスを解消するのが楽しみ！そうすることも心の中にもありません。

これからも末永くヨガ教室が続きますように。鈴木恵津子

**コスモス会忘年会**  
12月5日 参加者27名  
道頓堀今井「上本町YUFURA店」

一年の最終行事の忘年会。なんとでも出席せねばと仕事の途中ながら急ぎ到着。支配人、店長、又幹事さんのお蔭で店は貸し切り。暖かいおもてなしに感動。その上料理にあった日本酒をたくさん用意して頂きました。

皆さん年齢を感じさせないパワフルさでしたが、心なしかお酒は弱くなっているようでした。会話ははずみ大いに盛り上がり、いつもながら楽しい忘年会でした。

田畑ヒサ子

## ◆第8回役員会報告◆

日時：11月19日(水)6時30分  
場所：大阪市中央公会堂 第2会議室

出席者：岡・森沢・坂本・木原 栗波・宗次 田中・前田・山田

各相談役

◆会長あいさつ

及びOGS理事会報告

・日印産連 特別賞受賞に伴う様々な行事無事終了しました。  
・OGS役員会にて、理事長はじめ理事の方々にコスモス会総会出席をお願いしました。

## OGS事務局が移転しました

新住所  
〒541-0048 大阪市中央区瓦町1丁目6番10号 JPビル4階  
電話 (06) 6227-8512  
FAX (06) 6227-8522

## 一筆箋

コンビニで「〇〇会社で働いたらひどい目にあった」というマンガ本。内部告発かと立ち読みしようと思ったが完全密封ときてる。ますます読みたくなくなる。乏しい財布のなかから野口英世を婚にだす思いで買ってみたら、中身は単なるOLのケチ。

「ひどい目にあった」のはこの私である。

清原 幸子  
次回は栗波 寿美さんです。